

水稲用初・中期一発処理除草剤

メガゼータ[®]

シヤンボ



真正正銘、少成分！

◆ 直播水稲に
使用可能

プロピリスルフロン
ピラクロニル
2成分

◆ 2成分の一発剤 ◆ 難防除雑草に優れた効果 ◆ 3剤型勢揃い



ノビエ



ホタルイ



コナギ



ヘラオモダカ



ミスガツリ



オモダカ



クログワイ



シスイ

水稲用初・中期一発処理除草剤

メガゼータ[®]ジャンボ

◆ 2成分の一発剤 ピラクロニルの配合により優れた速効性を発揮

◆ 難防除雑草に優れた効果 多年生雑草・SU抵抗性雑草に有効

◆ 3剤型勢揃い 使用者のニーズに合わせてご使用いただけます



有効成分：プロピリスルフロン…2.25% ピラクロニル…5.0%

適用と使用方法

2019年11月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで	小包装(パック) 10個(400g) /10a	2回以内	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる
直播水稲	一年生雑草 及び ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ	3葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から 再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

■プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内

上手な使い方

<p>均平化作業・植付けはていねいに!</p> <p>田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・葉害の原因になることがあります。</p>	<p>移植深度は適正に!</p> <p>極端な浅植では根が露出し葉害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。</p>	<p>散布時の注意!</p> <ol style="list-style-type: none"> 水深5～6cmで散布。 藻類、浮草が発生する前に散布。 「濡れた手」で扱わない。 バックを破らずに投げ入れる。 	<p>散布後の注意!</p> <p>散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。</p>
--	--	--	--

使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはていねいにし、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な葉害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 以下のような条件では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。特に、処理時または処理後数日以内に異常高温が重なる場合は、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
 - 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
 - 軟弱な苗を移植した水田 ● 極端な浅植の水田
- 梅雨期等、処理後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- 前処理剤との体系で使用するには、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失わないように適期に使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 使用した水田の田面水は、他作物の湛水に用いないでください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
 - 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。
 - 散布後は水管理に注意してください。
 - 空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

01R11K19M09:ZS

2019年11月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 ☎ 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

